

指標	説明
総合値	総合値は、企業の持つ影響度全体を示す指標であり、特許の量的指標及び特許の質的指標の双方を勘案して数値化した指数です。 総合値 = $f \{ \text{特許の量的指標（出願件数等）}、\text{特許の質的指標（TS値、注目度等）} \}$
TS値	Technology Size（TS値）は、特許の広さを示す指標です。TS値が高いほど、特許の権利範囲が広い傾向を示します。TS値は、特許請求の範囲の記載をテキストマイニング技術を利用して解析することにより格成分数（特許請求の範囲の記載に含まれている格成分の数）を抽出することで、特許の限定度合を定量化した値です。
注目度	注目度は、特許がどの程度注目されているかを示す特許の質的指標です。被引用数、情報提供数、閲覧請求数、出願国数、早期審査の有無等の各種パラメータを組み合わせることで表されます。
出願件数	代表的な特許の量的指標です。特許の出願件数から、その技術分野の開発の注力度合、ひいてはそのビジネス分野への参画度合を推定することもできます。
権利状態	各特許出願の出願から権利化までのステータス状況を示すものです。出願中、権利存続中、不登録確定、権利化後消滅の4つのカテゴリに分類しております。
深化度	技術分野を絞り込んだ上でどのくらい深堀りしているかを示す指標であり、以下の式で表されます。 深化度 = 企業が持つ技術分野のコサイン類似度
探索度	技術をどのくらい多分野に向けて探索しているかを示す指標であり、以下の式で表されます。 探索性 = $\text{企業が持つ技術分野の補完度（他社の技術分野との関係を考慮）}$
グローバル度	国内出願に対する外国出願の割合を指標化したものであり、知財のグローバル展開の度合を示すものです。
特徴語	各企業の保有する技術や、各企業が推進する研究開発活動の特徴的なキーワードを抽出したものです。これらの抽出した特徴語は、特にM&Aデータソリューションにおける候補先企業の探索時において活用できます。
重要特許情報	重要特許情報は、同一の国際特許分類（IPC）における自社の重要特許数やその割合（シェア）を示す情報です。重要特許数は、事業経営に対して特に有効に作用すると想定される重要特許の数です。重要特許シェア率は、同一の国際特許分類（IPC）における自社の重要特許数やその割合（シェア）を示す情報です。
両利きの経営度	両利きの経営度とは、知の深化と知の探索のバランスを示す指標です。両利きの知財経営度は、知の深化、知の探索は、以下の式に基づいて計算されます。 知の深化 = $(\text{IPC（技術分類）数}) / \text{出願件数}$ 知の探索 = $(\text{当期IPC種類数} - \text{前期IPC種類数}) / \text{前期IPC種類数}$
効率的な知財の獲得	知財の獲得効率を示す指標であり、以下の式で表されます。 (1) 知財創出力……………特許出願件数／R&D費用 (2) R&D成果の有効権利化率…特許登録件数／R&D費用 (3) 特許出願効率……………特許登録件数／特許出願件数 (4) 重要特許取得率……………重要特許件数／特許出願件数